

# TOKYO LEGACY UPDATES on 6 FACILITIES

東京2020大会を機に整備した 都立スポーツ施設のこれまでの成果



東京都スポーツ推進本部

令和7(2025)年8月

# 目次

---

- 1 東京2020大会のレガシーとして戦略的に活用
- 2 「スポーツや多目的利用の拠点」として、着実に利用
  - (1) 年間を通じて高い利用率を達成
  - (2) 多くの催事が開催され、賑わいをうむ施設へ
- 3 施設のスペックを活かしたスポーツでの更なる利用
  - (1) 「東京のスポーツインフラの中核」として、高まる存在感
  - (2) トップアスリートを支え、ともに世界に挑戦
- 4 使い方の可能性を広げ、さらなる価値の創出と需要の取り込み
- 5 収支を改善しつつ、公共スポーツ施設としての意義を発揮
- 6 今後の取組の方向性
- 7 施設別の成果
  - (1) 東京アクアティクスセンター
  - (2) 海の森水上競技場
  - (3) カヌー・スラロームセンター
  - (4) 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場
  - (5) 夢の島公園アーチェリー場
  - (6) 有明アリーナ



# 1 東京2020大会のレガシーとして戦略的に活用

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルス感染症というかつてない逆境の中での開催となりましたが、大会史上初の延期という困難を乗り越え、世界中に勇気と感動を届けることができました。
- 大会を機に整備した施設は、大会後、仮設物の撤去や利用者サービス設備の整備などを行い、令和3年から令和5年にかけて順次再開業しました。
- 令和4・5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、来場者数は令和5年度には200万人を超え、令和6年度は約270万人となるなど、着実に増加しており、多くの方々にご利用いただいております。
- 本資料では、各施設をレガシーとして未来へ引き継いでいくため、公共の施設として、スポーツをはじめ、施設のポテンシャルを活かした多目的な利用を推進し、都民が集う拠点を目指したこれまでの取組をまとめました。

※ 大会を機に整備した施設 : 東京アクアティクスセンター、海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場、夢の島公園アーチェリー場、有明アリーナの6施設



## 東京アクアティクスセンター

(再開業: R5年4月)

世界最高水準の技術を結集し、  
圧巻の透明度を誇る**水の殿堂**  
キッズ・ジュニアからトップアスリートまで  
全スイマー憧れの聖地



## 海の森水上競技場

(再開業: R4年4月)

全長2キロの直線コースを備えた、  
競技大会開催とアスリート強化育成の拠点施設  
**広大な敷地と眺望**を誇る海の森エリア帯は、  
大型フェスとロケ撮影の新天地



## カヌー・スラロームセンター

(再開業: R4年7月)

日本唯一の人工激流コースが話題の  
ウォーターパーク  
高度トレーニングから、**ココでしかできない**  
**体験・学び**まで、充実のラインアップ

## 大井ホッケー競技場

(再開業: R4年6月)

地域に愛される**フットジェニック・ブルー**のスタジアム  
2026年ラグロス世界大会開催で  
さらに高まるエンゲージメント



## 夢の島公園アーチェリー場

(再開業: R3年10月)

真剣勝負の競技フィールドは、**緑映える芝生の広場**  
一般開放時は、誰もが**アイデアひとつで**  
**自由に楽しめる癒しの空間**



## 有明アリーナ

(開業: R4年8月)

時代の先端を行く**スマートアリーナ**  
魅力的なコンテンツで**新たな体験価値を創造**



## 2 「スポーツや多目的利用の拠点」として、着実に利用

### (1) 年間を通じて高い利用率を達成

- 東京2020大会のレガシーとして浸透し、施設の開業以降、着実に利用が推進
- 年間を通じて施設は大いに利用され、概ね9割を超える高い利用率を実現
- 新型コロナウイルス感染症の影響を脱し、来場者数は6施設合計で年間約270万人を達成

### 【各施設の実績】

| 施設名                        | 施設利用率(%) <sup>※1</sup> |       |       | 来場者数(万人) |       |       |
|----------------------------|------------------------|-------|-------|----------|-------|-------|
|                            | R4年度                   | R5年度  | R6年度  | R4年度     | R5年度  | R6年度  |
| 東京アクアティクスセンター              | —                      | 100.0 | 100.0 | —        | 69.7  | 68.7  |
| カヌー・スラロームセンター              | 100.0                  | 100.0 | 100.0 | 3.2      | 5.2   | 6.2   |
| 有明アリーナ                     | 97.3                   | 100.0 | 99.4  | 73.8     | 127.6 | 172.3 |
| 大井ホッケー競技場                  | 88.4                   | 88.2  | 98.1  | 8.9      | 9.7   | 13.0  |
| 海の森水上競技場                   | 83.1                   | 78.0  | 87.3  | 6.1      | 5.8   | 9.6   |
| 夢の島公園アーチェリー場 <sup>※2</sup> | 81.6                   | 74.5  | 83.5  | 1.4      | 1.1   | 1.8   |
| 合 計                        | —                      | —     | —     | 93.4     | 219.1 | 271.7 |

※1 施設利用率は、カヌー・スラロームセンターの換水期(1月～3月)とアーチェリー場のアーチェリーオフシーズン(1月～2月)を除く。

※2 夢の島公園アーチェリー場は、施設利用がない日は公園として常時開放し、都民の憩いの場になっている。

## (2) 多くの催事が開催され、賑わいをうむ施設へ

- スポーツや多目的利用の拠点となり、**大会やイベントの開催数は右肩上がりで増加**
- 全国大会や子供向け大会、コンサートなど、様々な利用方法で**都民に還元**

### 【大会・イベント等の開催状況】

| 施設名           | 大会・イベント数(年度)※ |     |     | R6年度の主な利用実績                                                                                                                          |
|---------------|---------------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|               | R4            | R5  | R6  |                                                                                                                                      |
| 海の森水上競技場      | 167           | 176 | 267 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ アジアカヌースプリント&amp;パラカヌー選手権大会</li> <li>➤ 屋外フェス:3件、ロケ撮影多数</li> </ul>                            |
| カヌー・スラロームセンター | 124           | 210 | 211 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ カヌースラローム アジア選手権大会</li> <li>➤ ラフティングツアー、カヌー体験:5~10月、水難救助訓練</li> </ul>                        |
| 大井ホッケー競技場     | 89            | 99  | 137 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ ホッケー日本代表国際強化マッチ</li> <li>➤ 子供向け大会:7大会(全国少年団ホッケー交流大会 等)</li> </ul>                           |
| 東京アクアティクスセンター | —             | 87  | 92  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 日本選手権水泳競技大会</li> <li>➤ 子供向け大会:22大会<br/>(全国JOCジュニアオリンピックカップ 等)</li> </ul>                    |
| 有明アリーナ        | 42            | 78  | 82  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ SV.LEAGUE(バレーボール)、井上尚哉ボクシング世界戦</li> <li>➤ コンサート・ショー:59件<br/>(松任谷由実、ディズニーオンアイス 等)</li> </ul> |
| 夢の島公園アーチェリー場  | 59            | 48  | 61  | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 全日本学生アーチェリー選手権</li> <li>➤ 屋外イベント(ティラノサウルスレース 等)</li> </ul>                                  |
| 合計            | 481           | 698 | 850 |                                                                                                                                      |

※ 大会やイベント等の専用利用、競技団体主催の練習利用、施設主催イベント等を計上

### 3 施設のスペックを活かしたスポーツでの更なる利用

#### (1)「東京のスポーツインフラの中核」として、高まる存在感

- 当初の **目標値を上回る数の大会が開催**
- 大規模大会の開催により、トップレベルの試合を身近で観戦

#### 【大会の実施状況】

| 施設名           | 大会数(年度) |     |     |     | 開催された主な大会                                          |
|---------------|---------|-----|-----|-----|----------------------------------------------------|
|               | 計画      | R4  | R5  | R6  |                                                    |
| 東京アクアティクスセンター | 100     | —   | 82  | 85  | ➤ 日本選手権水泳競技大会<br>➤ 全国JOCジュニアオリンピックカップ              |
| 大井ホッケー競技場     | 23      | 33  | 40  | 47  | ➤ ホッケー日本代表国際強化マッチ<br>➤ ラクロス全日本クラブ選手権大会             |
| 夢の島公園アーチェリー場  | 20      | 62  | 41  | 47  | ➤ 全日本学生アーチェリー個人選手権大会<br>➤ 全日本ターゲットアーチェリー選手権大会      |
| 海の森水上競技場      | 30      | 12  | 31  | 35  | ➤ 2024ACCアジアカヌースプリント&パラカヌー選手権大会<br>➤ 全日本ローイング選手権大会 |
| 有明アリーナ        | 10      | 7   | 17  | 10  | ➤ SV.LEAGUE MEN(バレーボール)<br>➤ バスケットボール男子日本代表国際強化試合  |
| カヌー・スラロームセンター | 7       | 4   | 8   | 8   | ➤ カヌースラローム アジア選手権大会<br>➤ NHK杯全日本カヌースラローム競技大会       |
| 合計            | 190     | 118 | 219 | 232 |                                                    |

## (2) トップアスリートを支え、ともに世界に挑戦

ローイング、カヌー(スラローム)のトップアスリートの強化拠点として、国からNTC※に指定

- 海の森水上競技場はバリアフリー環境も評価され、パラローイングの競技拠点として国内初の指定
- カヌー・スラロームセンターは国内唯一の人工激流コースにより選手の練習環境が格段に向上

【森卓也選手／パラローイング パリパラリンピック総合8位入賞】



【選手が語る施設の魅力】ユニバーサルデザインもしっかりしていて、宿泊もしっかりしているのでとても思いっきり練習ができるコースです。

【国際大会開催実績】

- ・2024年4月18日～21日  
2024ACCアジアカヌースプリント&パラカヌー選手権大会
- ・2024年9月22日～23日  
アジアトライアスロンカップ・アジアトライアスロンパラカップ

【羽根田卓也選手／

カヌー(スラローム)リオオリンピック銅メダリスト、パリオリンピック代表】



【選手が語る施設の魅力】本当に良いコースなんです。施設としてオリンピックにふさわしいものが全て備わっていますし、安全面も含めて世界に誇れる施設だと思います。東京のコースは、カヌースラローム競技にも十分な難易度、川の流れがありつつ、後々初級者から上級者まで楽しめるようないろいろな使い道があるコースになっていて、その点がすごくいいなと思っています。  
(Webメディア REAL SPORTS 2020.08.09)

【国際大会開催実績】

- ・2023年10月27日～29日  
カヌースラローム アジア選手権大会

※ ナショナルトレーニングセンター(NTC)競技別強化拠点施設 … トップアスリートの強化活動の場として、国が指定した強化拠点施設

## 4 使い方の可能性を広げ、さらなる価値の創出と需要の取り込み

- ここでしか味わえない感動と興奮を求めて、**ライブエンタメに約155万人が来場**
- 他に類を見ないユニークな特長や絶好のロケーションが注目を浴び、ロケ地としても高評価

### 【ライブエンターテインメント】

#### **有明アリーナ** (時代の先端を行くスマートアリーナ)

ファンタジックなミュージカル・ショーや、国内外の旬なアーティストによる**白熱のライブパフォーマンス**など、**魅力的なコンテンツ**が観衆を魅了し続けています。



令和6年度実績：  
開催日数 118日 約150万人来場

ビリー・アイリッシュ来日公演  
PHOTO:Kazumichi Kokei

#### **海の森水上競技場** (野外音楽フェスの新名所)

豪華アーティストの競演で話題の大型イベントを誘致。水と緑に囲まれた**広大なエリアからの眺望**と**非日常感**を存分に活かして、**野外音楽フェスの新名所**になりつつあります。



令和6年度実績：  
開催日数 9日 約4万2千人来場

METROCK  
(c)2025 TOKYO METROPOLITAN  
ROCK FESTIVAL All Rights Reserved

### 【ロケ撮影】

敷地内から都心の高層ビル群を一望できる**パノラマビュー**や、どのような場面設定にもマッチする機能的なデザインの建物、そして臨海部ならではの**アクセスの良さ**が、**映像・広告業界から新たな支持**を受けています。

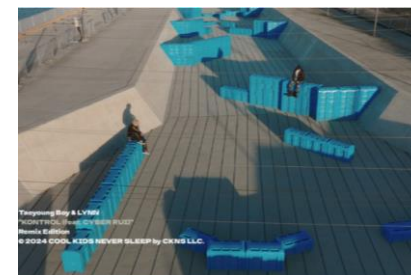
令和4～6年度実績

**海の森水上競技場**:157件

**カヌー・スラロームセンター**:87件



**特撮番組**  
(海の森水上競技場)

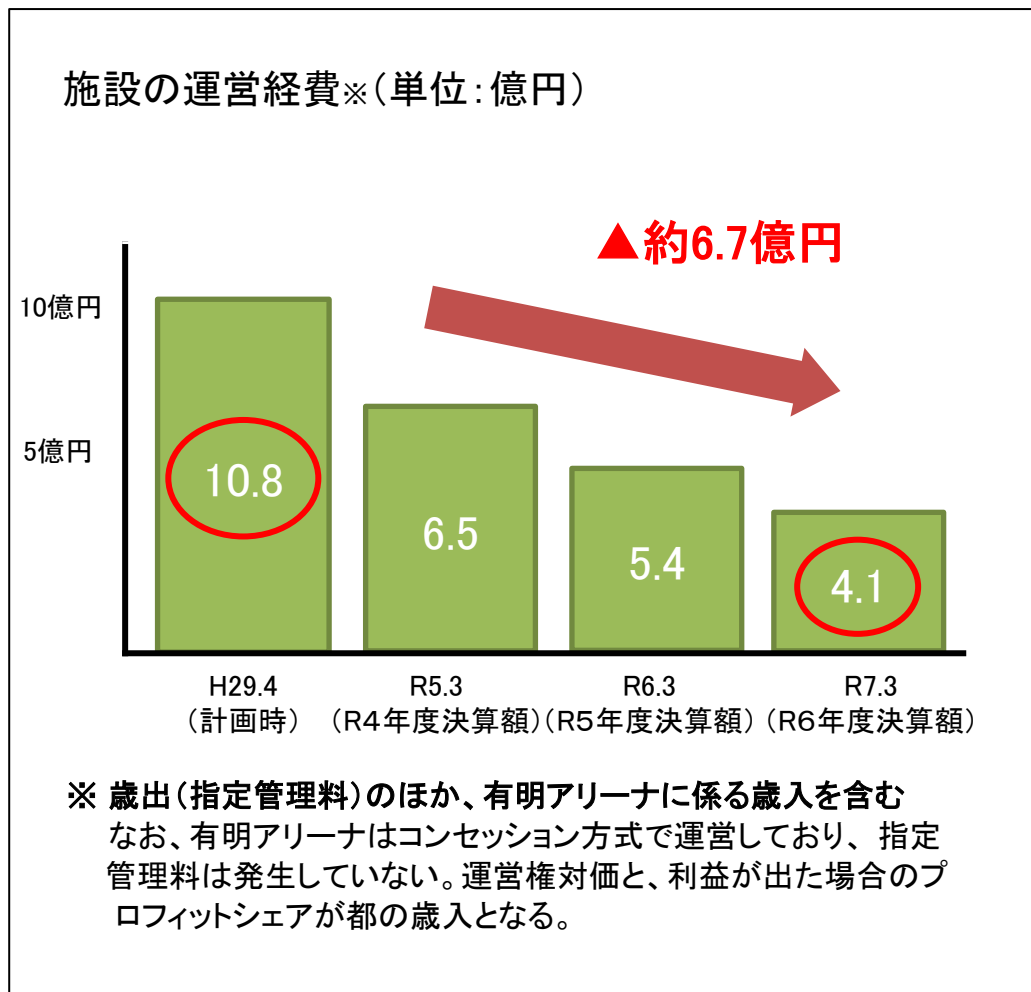


**ミュージックビデオ**  
(カヌー・スラロームセンター)

## 5 収支を改善しつつ、公共スポーツ施設としての意義を発揮

- 誰もが使いやすい低廉な料金を設定。そのために必要な運営経費を都が負担
- 運営の創意工夫や利用の拡大により、施設の運営に係る都の実質的負担は約 4.1億円まで縮減

### 【施設の運営経費の縮減】



### 【公立施設の指定管理料の性格】

○ 競技大会の開催はもとより、都民利用やアマチュアスポーツ、パラスポーツの振興などを念頭に、誰もが気軽に利用できるよう低廉な料金設定をする等、民間施設とは異なる役割が期待されています。

➡ 指定管理者と連携し、誰もが使いやすい低廉な料金設定を維持しつつ、可能な限り効率的な施設運営に取り組むことで、公共施設としての役割を果たしていきます。

➡ 公共施設の指定管理料はスポーツ振興や、都民のウェルビーイングの向上等に必要な行政費用と考えています。

## 【参考】各施設に係る都の歳出(指定管理料)の推移

単位:百万円

| 施設名           | 施設運営計画<br>(H29.4公表) | R4年度 | R5年度 | R6年度<br>【暫定値】 |
|---------------|---------------------|------|------|---------------|
| 東京アクアティクスセンター | 638                 | 467  | 505  | 505           |
| 海の森水上競技場      | 158                 | 251  | 171  | 171           |
| カヌー・スラロームセンター | 186                 | 157  | 159  | 159           |
| 大井ホッケー競技場     | 92                  | 84   | 72   | 72            |
| 夢の島公園アーチェリー場  | 12                  | 16   | 13   | 13            |
| 有明アリーナ ※      | 0                   | ▲321 | ▲385 | ▲514          |
| 合計            | 1,086               | 654  | 535  | 406           |

※ 有明アリーナは都の歳出なし。▲の数値は都の歳入(運営権対価及び業績連動支払)。

## 6 今後の取組の方向性

- 各施設では、現在、スポーツだけでなく音楽フェス等の様々なイベントなど、多目的な活用が進んでおり、さらに、バリアフリー化により障害の有無に関わらず全ての人のために利用しやすい施設となるなど、東京2020大会のレガシーとして大いに利用されています。
- 今後は、本年3月に公表した、新たな「東京都スポーツ推進総合計画」に基づき、各施設のポテンシャルを最大限発揮し、スポーツやエンターテインメントなど、様々な体験機会やコンテンツの提供を通じて多様な価値を提供することで、都民のウェルビーイングの向上に寄与してまいります。



## **7 施設別の成果**

# (1) 東京アクアティクスセンター

世界最高水準の技術を結集し、**圧巻の透明度を誇る水の殿堂**

## 主なレガシー

- 大規模大会を含む多数の競技大会を通じて、水泳の裾野拡大と世界を目指すアスリートを育成
- オリンピアンによる水泳教室やアーティスティックスイミング体験会など、多様なスポーツ機会を提供

## 1 後利用の視点

### ○アスリート視点

・日本・東京のアスリートの晴れの舞台として、競技力向上に貢献  
**年間85大会**(R6年度実績)

〔ジャパンオープン、日本選手権、JOCジュニアオリンピックカップ等〕



(東京アクアティクスセンター杯)

### ○都民視点

・都民のための水泳場という機能も併せ持つ施設として、子供から高齢者まで、スポーツや健康増進に取り組むことができる場を提供



(オリンピアンによる水泳教室)

## 2 周辺施設等との連携

○辰巳の森海浜公園や若洲ヨット訓練所などと連携し、新たなにぎわいを創出

### 【具体例】

・スポーツの日記念事業

辰巳の森海浜公園と連携し、様々な体験メニューを来場者に提供

・子供ヨット体験会

若洲ヨット訓練所と連携し、安全なプールでヨット体験の機会を子供に提供



(アクアスポーツフェスティバル)



(子供ヨット体験会)

## 3 年間来場者

**68.7万人**(R6年度実績)

※ 団体利用(競技大会など)及び個人利用等(プール等の個人利用、水泳教室事業参加者など)の合計

## 4 管理運営

○指定管理者制度を採用し、効率的な管理運営について取組を推進

○都の歳出(指定管理料)は計画時の約6.4億円から約5.1億円(R6年度実績)まで縮減

| 都の歳出(指定管理料) |           |
|-------------|-----------|
| 平成29年度(計画)  | 令和6年度(実績) |
| 約6.4億円      | 約5.1億円    |

# (2) 海の森水上競技場

**全長2キロの直線コース**を備えた、競技大会開催とアスリート強化育成の拠点施設

主なレガシー

- 様々な水上競技の大会開催や強化合宿等を通じたアスリートの強化、育成
- 水上スポーツの機会提供等による競技の裾野拡大に加え、陸域の活用によりにぎわいを創出

1 後利用の視点

○アスリート視点

・ローイングやトライアスロンなどの競技大会を積極的に誘致・開催するほか、ナショナルトレーニングセンター（NTC）としてアスリートの練習・合宿でも使用

年間35大会（R6年度実績）

- 全日本ローイング選手権大会、東京・海の森トライアスロン等



（関東学生カヌー大会）

○都民視点

・水上スポーツ・レジャーの体験機会や、大規模音楽フェスなど、多様なスポーツやエンターテインメントに親しめる場



（水上スポーツ体験）

2 周辺施設等との連携

○競技団体や民間企業などと連携し、臨海部ににぎわいの場を創出

【具体例】

・総合型地域スポーツクラブ  
海の森水上競技場と周辺の公園に、都民がスポーツに親しめる総合型地域スポーツクラブを創設



（海の森総合型地域スポーツクラブ）

・東京ベイeSGプロジェクト  
「先行プロジェクト」の実施場所として、最先端テクノロジーの社会実装に向けた実証実験の場を提供



（東京ベイeSGプロジェクト）

3 年間来場者

9.6万人（R6年度実績）

※ 団体利用（競技大会や大規模フェスなど）及び個人利用等（教室事業など）の合計

4 管理運営

- 指定管理者制度を採用し、効率的な管理運営について取組を推進
- 都の歳出（指定管理料）は約1.7億円（R6年度実績）

| 都の歳出（指定管理料） |           |
|-------------|-----------|
| 平成29年度（計画）  | 令和6年度（実績） |
| 約1.6億円      | 約1.7億円    |

# (3) カヌー・スラロームセンター

日本唯一の人工激流コースが話題のウォーターパーク

主なレガシー

- 国内初の人エスラロームコースにおける安定した競技環境のもとで、アスリートを強化・育成
- 競技コースでのラフティング・カヌー体験のほか、陸域でのイベントやロケ撮影等の機会を提供

1 後利用の視点

○アスリート視点

- ・カヌーをはじめとした水上競技の国際大会、国内大会を誘致・開催
- 年間8大会**(R6年度実績)

( NHK杯全日本カヌースラローム競技大会、東京パドリングゲームス等 )



(東京パドリングゲームス)

○都民視点

- ・水上スポーツ体験やラフティング等の水上レジャーの機会の提供
- ・水難救助訓練やイベントなど、様々なニーズに応える利用



(ラフティングツアー)

2 周辺施設等との連携

○地元自治体や民間団体等と連携し、周辺地域ににぎわいを創出

- ・地元自治体によるカヌー教室  
江戸川区は、小中学生を対象とした体験イベント等を実施
- ・民間団体等と連携したイベント  
民間企業やNPO団体等と連携し、施設の特性を活かした水難救助訓練などの各種イベントを展開



(江戸川区羽根田卓也杯カヌー大会)



(世界溺水防止デーイベント)

3 年間来場者

**6.2万人**(R6年度実績)

( ※ 競技利用(大会利用等)及び一般利用(水上スポーツ、水上レジャー、水難救助訓練等)の合計 )

4 管理運営

- 指定管理者制度を採用し、効率的な管理運営について取組を推進
- 都の歳出(指定管理料)は計画時の約1.9億円から約1.6億円(R6年度実績)まで縮減

| 都の歳出(指定管理料) |           |
|-------------|-----------|
| 平成29年度(計画)  | 令和6年度(実績) |
| 約1.9億円      | 約1.6億円    |

# (4) 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

## ホッケーやラクロスをはじめ、様々なスポーツで利用できる多目的球技場

### 主なレガシー

- 数少ない公共のホッケー競技場として、ホッケーの競技力強化と普及・振興の場
- 都民が幅広く様々なスポーツを行うことができる場として、地域のにぎわいを創出

### 1 後利用の視点

#### ○アスリート視点

- ・国際大会・国内大会の開催を通じて、ホッケーやラクロス等の競技力強化、普及・振興を促進
- 年間47大会 (R6年度実績)



(ホッケー日本代表国際強化マッチ)

#### ○都民視点

- ・多くの都民が、ラクロス、タッチラグビー等、様々なスポーツ大会や練習で利用できる多目的球技場として活用



(NeO ラクロススクール)

### 2 周辺施設等との連携

○ 地元自治体や競技団体等と連携し、スポーツを通じて地域のにぎわいを創出

#### 【具体例】

- ・地元自治体による施設活用  
品川区及び大田区は、子供や家族が参加できる区民向けスポーツイベントを実施
- ・競技団体等との連携  
施設の特性を活かし、ホッケーやラクロスをはじめ様々な競技団体等と連携したスポーツイベントを開催



(大田区主催: おおたランニングフェスティバル) (東京ヴェルディフットサルフェスタ)



### 3 年間来場者

13万人 (R6年度実績)

※ 団体利用(競技大会、練習、合宿等)及び体験教室等参加者などの合計

### 4 管理運営

- 指定管理者制度を採用し、効率的な管理運営について取組を推進
- 都の歳出(指定管理料)は計画時の約92百万円から約72百万円(R6年度実績)まで縮減

| 都の歳出(指定管理料) |           |
|-------------|-----------|
| 平成29年度(計画)  | 令和6年度(実績) |
| 約92百万円      | 約72百万円    |

# (5) 夢の島公園アーチェリー場

## アーチェリーを中心に、都民・公園利用者に対し多様な活用の機会を提供

### 主なレガシー

- アーチェリーの主要な競技大会の会場として活用
- 広大な芝生広場という特性を活かし、各種イベントや都民の憩いの場として多目的に活用

### 1 後利用の視点

#### ○アスリート視点

- ・主要国内大会の開催を通じて、アーチェリーの競技力強化、普及・振興に貢献

年間47大会(R6年度実績)



(全日本ターゲットアーチェリー選手権)

#### ○都民視点

- ・芝生広場として都民の憩いの場を提供するほか、各種イベントを実施できる多目的広場として効果的に活用



(甲冑バトル観戦イベント)

### 2 周辺施設等との連携

- 各種団体と連携しつつ、夢の島エリアに新たなにぎわいを創出

#### 【具体例】

- ・民間団体等との連携

企業等と連携し、都民が体験できる様々なコンテンツを展開



(ボールパークプロジェクト)

- ・近隣施設との連携

隣接するBumB東京スポーツ文化館との連携により、施設の利便性を向上



(BumB東京スポーツ文化館 宿泊室)

### 3 年間来場者

1.8万人(R6年度実績)

※ 競技利用(大会利用、体験教室など)及び多目的利用(各種イベント等)の合計

### 4 管理運営

- 指定管理者制度を採用し、効率的な管理運営について取組を推進
- 都の歳出(指定管理料)は約13百万円(R6年度実績)

| 都の歳出(指定管理料) |           |
|-------------|-----------|
| 平成29年度(計画)  | 令和6年度(実績) |
| 約12百万円      | 約13百万円    |

# (6) 有明アリーナ

## 時代の先端を行くスマートアリーナ

### 主なレガシー

- 国際試合やプロリーグなど質の高いスポーツ観戦機会の提供によるスポーツムーブメントの創出
- 国内外のアーティストによるコンサート等のイベント開催による東京の新たな文化発信拠点

### 1 後利用の視点

#### ○ アスリート視点

- ・アスリートの活躍の場となる、国内外の大規模大会の会場
- 年間10大会 (R6年度実績)**

〔男子プロバレーボールリーグ「SV.LEAGUE MEN」、男子プロバスケットリーグ「Bリーグ」等〕



(SV.LEAGUE MEN)



(車いすバスケ体験教室)

#### ○ 都民視点

- ・コンサートなど、多様なエンターテインメントを提供
- ・体験教室等を通じて都民がスポーツに親しめる場を提供

### 2 周辺施設等との連携

○ プロスポーツや都のイベントと連携して、地域住民ににぎわいの空間を提供

#### 【具体例】

- ・ 有明アリーナスポーツフェス  
プロスポーツチームと連携し、誰でも参加できるスポーツ体験機会を創出



(有明アリーナスポーツフェス)

- ・ SusHi Tech Tokyo 2024  
衣食住、買い物、乗り物などテーマに合わせた演出で、最先端技術による“未来の一日”体験を提供



(SusHi Tech Tokyo 2024)

### 3 年間来場者

**172.3万人 (R6年度実績)**

〔※ メインアリーナ、サブアリーナ (国内外スポーツ大会、コンサート等) の合計〕

### 4 管理運営

- コンセッション方式で運営しており、都の歳出は発生していない
- 運営権対価と、利益が出た場合のプロフィットシェアが歳入として発生 (R6年度実績: 約5.1億円)

| 都の歳出・歳入                                 |                               |
|-----------------------------------------|-------------------------------|
| 平成29年度(計画)<br>コンセッションについて<br>具体的な検討を進める | 令和6年度(実績)<br><b>約5.1億円の歳入</b> |